

4. 前年度実施状況及び令和6年度実施計画

(2)前年度学習者に関する状況 ※前年度の状況について実数又は概ねの割合を記載すること

国 籍	例) 中国 (10名)、ベトナム (5名)
居住市区町村	例) 灘区 (7名)、東灘区 (5名)、中央区 (2名)、●●市 (1名)
在留資格	例) 留学 (9名)、技能実習 (3名)、家族滞在 (2名)、 技術・人文知識・国際業務 (1名)
職業	例) 日本語学校学生 (7名)、会社員 (4名)、大学生 (2名)、専業主婦・ 夫 (2名)

5. 助成金申請額の算定

(1)諸謝金・旅費・交通費 事業費 (見込み)

用途	対象者	謝金単価①	稼働時間② (1日あたり)	交通費③ (往復)	稼働日数④	計 (①×②+③)

各項目の用途には、教室又は多文化の別を記入してください
(日本語教室⇒教室 多文化共生事業⇒多文化)

(2)会場使用料 (見込み)

用途	会場費 (貸し会議室のみ)	開催回数	計
会場1	/回		円

(3)印刷製本費 (見込み)

用途	印刷製本内容	計
		円

(4)教材用書籍 (見込み)

用途	教材用書籍名	計
		円